令和8年度

開校50周年記念誌













北海道美唄養護学校



もくじ

○北海道美唄養護学校グランドデザイン

○沿革　開校 50 周年を迎えて　校章（校旗）校歌

○祝辞

○学部　寄宿舎の紹介

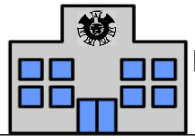
○旧職員　卒業生メッセージ

○50 周年記念行事

○50 周年記念イベント

【教育信条】「あくまでも優しく　あくまでも厳しく」　　【学校教育目標】「幸せな未来を　見つける　支え合う　つなぐ」

令和8年度　北海道美唄養護学校　グランドデザイン



「チーム美養」

・魅力ある学校に・

○ 児童生徒の学ぶ意欲が高まる学校　○ 保護者が安心、信頼できる学校
○ 地域の方々とともに共生する学校　○ 職員が仕事にやりがいをもてる学校

・保護者や地域の方々と・

○ 地域（社会）に開かれた学校（教育課程）の編成
○ 学校情報の継続的な発信と公開
○ 説明責任を果たせる教育の実現
○ 特別支援教育のセンター的機能の充実
○ 関係機関との連携の充実
○ 信頼される学校への不断の努力

・こんな児童生徒に・

知 学んだことを生活の中に生かそうとする子
思 自ら考え行動しようとする子
公 進んで学び、人とかかわりながら地域社会に参加しようとする子

・こんな教職員に・

○ 子ども最優先に安心・安全を考え行動する教職員
○ 授業・指導・支援の充実を目指し常に学ぶ教職員
○ 専門性を磨き、活力と創造性にあふれ連携・協働する教職員
○ 児童生徒・保護者・地域社会等から信頼される教職員
○ 明るく健康で責任と実践を大切にする教職員

ウエルビーイングな学校をめざして

★ 安全で安心な学校〔大切な居場所〕
- 子どもが主語・主役になる環境の整備
- 人権を尊重した丁寧な対応と説明責任
- 危機管理対応力の向上

重点キーワード
「ありがとう」と言える人、
「ありがとう」と言われる人を
育てる学校

★ 社会に開かれた学校〔教育課程の編成〕
- 子どもが主体的に取り組む教育内容の検討
- 地域資源を活用した教育活動の展開・充実

学校づくり
- 開校 50 周年記念事業の推進・実施
- 子どもが主語になる学校
- 安心・安全な学校
- 教務・寮務・事務が連携した学校
- 人を大事にする学校
- 働き方を常に考える学校

人づくり
- 探求的な学習の充実・推進
- 主体的、対話的で自走できる集団
- 子ども、教職員、保護者等、地域との協同
- 専門性、指導力の向上

まちづくり
- BY（美唄養護学校）プロジェクトの推進
- 社会貢献活動の推進・充実
- SDGｓの推進

Ⅰ　学校の沿革

昭和52．４．１　校長　吉川　武男、教頭　瓦木　哲朗、事務長　伊藤　　博　発令
４．20　入学式挙行（学級数18、児童生徒数142名）
４．26　開校式挙行
12．13　屋内体育館、その他屋外施設設備竣工
昭和53．４．１　小学部12学級、中学部６学級（児童生徒数142名）
５．31　第１回公開研究会
昭和54．４．１　小学部19学級（内重複障害学級５）、中学部６学級、訪問教育部４学級
児童生徒数183名（小学部126名、中学部44名、訪問教育部13名）
昭和55．２．３　全道学校給食コンクール入賞
昭和55．４．１　小学部22学級（内重複障害学級５）、中学部６学級、訪問教育部５学級
児童生徒数199名（小学部139名、中学部62名、訪問教育部18名）
昭和56．４．１　教頭　村上　　一　発令
小学部19学級（内重複障害学級４）、中学部９学級、訪問教育部４学級
児童生徒数199名（小学部119名、中学部62名、訪問教育部18名）
11．１　開校５周年記念式典挙行
昭和57．２．23　第２回公開研究会
４．１　事務長　伊東　隆義　発令
小学部17学級（内重複障害学級４）、中学部11学級（内重複障害学級３）、
訪問教育部４学級
児童生徒数191名（小学部103名、中学部70名、訪問教育部18名）
９．４　第１回北海道精神薄弱養護学校体育大会開催
昭和58．１．11　第２代校長　花輪　　稔　発令
４．１　小学部16学級（内重複障害学級３）、中学部12学級（内重複障害学級３）、
訪問教育部４学級
児童生徒数192名（小学部95名、中学部80名、訪問教育部18名）
10．13　第５回北海道精神薄弱養護学校研究協議会研究大会開催
昭和59．４．１　小学部16学級（内重複障害学級３）、中学部10学級（内重複障害学級３）
訪問教育部３学級
児童生徒数161名（小学部87名、中学部60名、訪問教育部14名）
昭和60．４．１　事務長　猪戸農夫郎　発令
小学部11学級（内重複障害学級２）、中学部11学級（内重複障害学級３）
訪問教育部４学級
児童生徒数139名（小学部59名、中学部65名、訪問教育部15名）
昭和61．４．１　第３代校長　西山　兼治　発令
小学部10学級（内重複障害学級２）、中学部10学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級
児童生徒数126名（小学部59名、中学部56名、訪問教育部11名）
11．１　開校10周年記念式典挙行
昭和62．２．25　第３回公開研究会
昭和62．４．１　小学部11学級（内重複障害学級３）、中学部10学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級
児童生徒数130名（小学部57名、中学部60名、訪問教育部13名）
昭和63．４．１　第４代校長　斉藤　　隼、事務長　熊谷　六男　発令
小学部10学級（内重複障害学級２）、中学部７学級（内重複障害学級１）
訪問教育部３学級
児童生徒数102名（小学部50名、中学部42名、訪問教育部10名）
６．25　プール落成式、交流教育（美唄市立東栄小学校）の実施
９．17　第７回北海道精神薄弱養護学校体育大会開催
平成元．２．21　教頭　相原　　茂　発令
４．１　小学部９学級（内重複障害学級２）、中学部８学級（内重複障害学級２）
訪問教育部４学級
児童生徒数94名（小学部43名、中学部41名、訪問教育部10名）
平成元年度文部省心身障害児適正就学研究推進指定校

平成２．４．１　第５代校長　平　喜美雄　発令
小学部10学級（内重複障害学級２）、中学部６学級（内重複障害学級２）
訪問教育部５学級（小学部３、中学部２）
児童生徒数88名（小学部40名、中学部35名、訪問教育部13名）
平成３．４．１　教頭　佐藤　美春、事務長　安藤　　剛　発令
小学部８学級（内重複障害学級２）、中学部８学級（内重複障害学級２）
訪問教育部６学級（小学部４、中学部２）
児童生徒数80名（小学部33名、中学部30名、訪問教育部17名）
平成４．４．１　小学部８学級（内重複障害学級２）、中学部８学級（内重複障害学級２）
訪問教育部８学級（小学部６、中学部２）
児童生徒数80名（小学部33名、中学部30名、訪問教育部17名）
11．24　平成４年度北海道体力つくり優良校受賞
平成５．４．１　第６代校長　橋本　　博　発令
小学部５学級（内重複障害学級１）、中学部７学級（内重複障害学級２）
訪問教育部５学級（小学部４、中学部１）
児童生徒数66名（小学部21名、中学部31名、訪問教育部14名）
８．１　教頭　倉本　智和　発令
10．14　第45回北海道放送教育研究会空知大会(特殊教育諸学校放送教育研究大会)開催
平成６．４．１　事務長　岡田　富男　発令
小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部８学級（小学部４、中学部４）
児童生徒数62名（小学部19名、中学部30名、訪問教育部13名）
12．２　平成６年度空知管内教育実践表彰受賞
平成７．４．１　小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部７学級（内重複障害学級３）
訪問教育部５学級（小学部３、中学部２）
児童生徒数58名（小学部23名、中学部23名、訪問教育部12名）
平成７・８年度北海道立特殊教育諸学校教育実践研究指定校
９．７　第14回北海道精神薄弱養護学校体育大会開催
平成８．２．14　平成７年度北海道教育実践表彰受賞
平成８．４．１　第７代校長　西巻　健三　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部６学級（内重複障害学級３）
訪問教育部５学級（小学部３、中学部２）
児童生徒数52名（小学部23名、中学部17名、訪問教育部12名）
平成９．２．７　開校20周年記念公開研究会（平成７・８年度北海道立特殊教育諸学校教育実践研究指定校研究発表）開催
平成９．４．１　教頭　武石　詔吾、事務長　田中　　誠　発令
平成９・10年度北海道教育委員会心身障害児家庭教育学級指定校
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部５学級（小学部３、中学部２）
児童生徒数50名（小学部23名、中学部17名、訪問教育部12名）
５．17　交流教育（東明町内会）の実施
６．26　交流教育（美唄市立美唄東中学校）の実施
平成10．４．１　第８代校長　高田　豊美　発令
高等部開設、通知表「二期制」実施
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級（小学部１、中学部２）
高等部３学級（普通学級１、重複障害学級１、訪問教育部１）
児童生徒数53名（小学部24名、中学部14名、訪問教育部12名）
平成11．４．１　教頭　太田　正浩　発令
平成11・12年度北海道立特殊教育センター研究協力校「知的障害養護学校高等部の教育内容・方法に関する調査研究」
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級（小学部１、中学部２）
高等部３学級（普通学級１、重複障害学級１、訪問教育部１）
児童生徒数53名（小学部24名、中学部14名、訪問教育部12名）

平成12．４．１　第９代校長　中嶋　嘉子、事務長　佐々木　聰　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級（小学部１、中学部２）
高等部３学級（普通学級１、重複障害学級１、訪問教育部１）
児童生徒数53名（小学部24名、中学部14名、訪問教育部12名）
９．８　第19回北海道知的障害養護学校体育大会開催
平成13．４．１　北海道教育委員会指定研究「地域ボランティアセミナー」開設
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部３学級（小学部１、中学部２）
高等部３学級（普通学級１、重複障害学級１、訪問教育部１）
児童生徒数53名（小学部24名、中学部14名、訪問教育部12名）
平成14．４．１　第10代校長　奥田　裕志、教頭　高橋　正志　発令
小学部７学級（内重複障害学級３）、中学部６学級（内重複障害学級２）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部５学級（普通学級１、重複障害学級２、訪問教育部１）
児童生徒数54名（小学部24名、中学部14名、訪問教育部12名）
平成15．４．１　小学部６学級（内重複障害学級３）、中学部６学級（内重複障害学級２）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部５学級（普通学級２、重複障害学級２、訪問教育部１）
児童生徒数50名（小学部19名、中学部21名、高等部10名）
７．１　教頭　高橋　勝利　発令
９．20　学校公開実施
12．４　北海道立身体障害者リハビリテーションセンターとの交流開始
平成16．４．１　新校舎移転完了
事務長　菊地　伸一発令
小学部５学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部３学級（普通学級２、重複障害学級１、訪問教育部１）
児童生徒数５１名（小学部２０名、中学部１９名、高等部１２名）
４．19　新校舎公開見学会（～２３日）
７．16　地域連携フォーラム開催
７．30　第１回空知管内地域支援ネットワーク会議開催
10.23 24　第３９回北海道特殊教育振興大会・第２９回北海道特殊教育関係ＰＴＡ研究大会合同大会
12．９　外構工事検査
２．28　第２回空知管内地域支援ネットワーク会議開催
３．22　美唄市トータルマネジメント連携協議会開催
平成17．４．１　第11代校長　齊藤　哲男　発令
小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部７学級（内重複障害学級４）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部５学級（普通学級２、重複障害学級２、訪問教育部１）
児童生徒数６０名（小学部２０名、中学部２２名、高等部１８名）
７．10　開校３０周年記念植樹（おやじの会）
７．15　地域連携フォーラム開催
９．16　開校３０周年および新校舎落成記念式典挙行
平成18．４．１　教頭　吉田　孝子　発令
小学部５学級（内重複障害学級２）、中学部６学級（内重複障害学級３）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部６学級（普通学級３、重複障害学級２、訪問教育部１）
児童生徒数６４名（小学部２０名、中学部２１名、高等部２３名）
９．８　第25回北海道知的障害養護学校体育大会美唄大会開催
９.22　第28回北海道知的障害養護学校教育研究大会道北地区大会・美唄大会開催
平成19．４．１　事務長　北村　清次　発令
小学部５学級（内重複障害学級２）、中学部６学級（内重複障害学級３）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部７学級（普通学級３、重複障害学級３、訪問教育部１）
児童生徒数６３名（小学部１７名、中学部２３名、高等部２３名）

平成20．４．１　教頭　長谷川和之　発令
特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業推進校
小学部５学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級１）
訪問教育部１学級（小学部１）
高等部８学級（普通学級３、重複障害学級４、訪問教育部１）
児童生徒数６４名（小学部２０名、中学部１８名、高等部２６名）
平成21．４．１　第12代校長　中畑　一利、事務長　木村　博至　発令
小学部５学級（内重複障害学級１）、中学部６学級（内重複障害学級３）
訪問教育部１学級（小学部１）
高等部７学級（普通学級３、重複障害学級３、訪問教育部１）
児童生徒数６９名（小学部２５名、中学部２０名、高等部２４名）
平成22．４．１　教頭　鳴海　玉乃　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級２）
訪問教育部１学級（中学部１）
高等部９学級（普通学級４、重複障害学級３、訪問教育部２）
児童生徒数７３名（小学部２５名、中学部１８名、高等部３０名）
11.25　高等部校舎増築完成
平成23．４．１　第13代校長　外山　正一、事務長　鶴田　靖子　発令
医療的ケア実施、看護師２名配置
小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部６学級（内重複障害学級２）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部９学級（普通学級５、重複障害学級２、訪問教育部２）
児童生徒数７５名（小学部２１名、中学部２４名、高等部３０名）
平成24．４．１　小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級１）
訪問教育部２学級（小学部１、中学部１）
高等部１０学級（普通学級５、重複障害学級４、訪問教育部１）
児童生徒数７７名（小学部２１名、中学部２２名、高等部３４名）
４．９　スクールバス運行開始(岩見沢方面)
平成25．４．１　第14代校長　保科　安子　発令
小学部５学級（内重複障害学級２）、中学部５学級（内重複障害学級１）
訪問教育部１学級（中学部１）
高等部９学級（普通学級４、重複障害学級４、訪問教育部１）
児童生徒数６９名（小学部１９名、中学部２０名、高等部３０名）
平成26．４．１　教頭　小川　忠徳　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部４学級（内重複障害学級１）
高等部９学級（内重複障害学級４）、訪問教育学級１
児童生徒数６７名（小学部２０名、中学部１５名、高等部３２名）
11．27　空知管内知的障がい関係施設･学校･行政機関等連絡協議会会場、公開授業
平成27．４．１　事務長　島　昌弘　発令
小学部６学級（内重複障害学級２）、中学部４学級（内重複障害学級１）、
高等部１０学級（内重複障害学級４）、訪問教育学級１
児童生徒数６９名（小学部２０名、中学部１５名、高等部３４名）
６．15　医療的ケア実施、看護師１名配置（～平成 28.3.12）
11．26　空知管内知的障がい関係施設･学校･行政機関等連絡協議会会場、公開授業
平成28．４．１　第15代校長　矢野　光男　発令
小学部５学級（内重複障害学級１）、訪問教育学級１
中学部４学級（内重複障害学級１）、訪問教育学級１
高等部９学級（内重複障害学級４）、訪問教育学級１
児童生徒数７０名（小学部１８名、中学部１６名、高等部３６名）
７．22　開校40周年記念学校公開・研究発表会
平成29．４．１　教頭　野中　　宏　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部５学級（内重複障害学級２）
高等部１０学級（内重複障害学級４）、訪問教育学級１
児童生徒数７４名（小学部２３名、中学部１７名、高等部３４名）
医療的ケア実施、看護師１名配置

平成30．４．１　第16代校長　小原　雅浩　、事務長　管野　益美発令
小学部８学級（内重複障害学級３）、訪問教育学級１
中学部４学級（内重複障害学級１）
高等部９学級（内重複障害学級３）、訪問教育学級１
児童生徒数８１名（小学部２９名、中学部１６名、高等部３６名）
平成31．４．１　教頭　岩橋　亜矢　発令
小学部８学級（内重複障害学級３）、訪問教育学級１
中学部５学級（内重複障害学級２）、高等部９学級（内重複障害学級３）
児童生徒数９６名（小学部３３名、中学部２０名、高等部４３名）
令和元．12　教室等転換改修工事開始
令和２．２．３　教室等転換改修工事終了
令和２．４．１　第17代校長　長野　藤夫　、事務長　田村　倫宏　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部４学級（内重複障害学級１）、訪問教育学級１
高等部９学級（内重複障害学級４）
児童生徒９３名（小学部３１名、中学部１９名、高等部４３名）
令和３．４．１　教頭　長島　英子　発令
小学部８学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
高等部８学級（内重複障害学級３）
児童生徒数８９名（小学部３０名、中学部２５名、高等部３４名）
医療的ケア実施、看護師２名配置
令和４．４．１　第18代校長　上村　喜明　、事務長　寺地　聡　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部６学級（内重複障害学級１）、訪問教育学級１
高等部９学級（内重複障害学級４）
児童生徒９４名（小学部２９名、中学部２５名、高等部４０名）
令和５．４．１　教頭　青木　淳　発令
小学部６学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
高等部９学級（内重複障害学級３）
児童生徒９２名（小学部２２名、中学部３３名、高等部３７名）
学校運営協議会（コミュニティスクール）開始
令和６．４．１　第19代校長　児玉　倫政　、事務長　灰野　喜李子　発令
小学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
中学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
高等部１０学級（内重複障害学級５）
児童生徒１０１名（小学部２５名、中学部３１名、高等部４５名）
令和７．４．１　教頭　徳永　光　発令
小学部７学級（内重複障害学級３）
中学部７学級（内重複障害学級２）、訪問教育学級１
高等部９学級（内重複障害学級４）、訪問教育学級１
児童生徒９３名（小学部２５名、中学部３１名、高等部３７名）
大規模改修工事
令和８．４．１　第20代校長　吉岡　大介　、事務長　夏井　薫　発令
小学部８学級（内重複障害学級２）
中学部５学級（内重複障害学級１）、訪問教育学級１
高等部１２学級（内重複障害学級５）、訪問教育学級１
児童生徒１０５名（小学部３０名、中学部２５名、高等部５０名）
11．27　開校50周年記念式典、公開研究会



開校 50 周年を迎えて

北海道美唄養護学校長　吉　岡　大　介

令和８年に北海道美唄養護学校が開校 50 周年という大きな節目を迎えることとなりました。半世紀にわたり本校の教育に多大なる御支援、御協力を賜りました、美唄市をはじめ、空知管内の各市町、関係機関の皆様に衷心より感謝申し上げます。

緑豊かなこの美唄の地で、昭和 52 年４月、養護学校の義務化に伴って、知的障害のある児童生徒を対象とした養護学校として誕生した本校は、開校以来一貫して「あくまでも優しく、あくまでも厳しく」を教育信条に掲げ「自立と社会参加」を目指し教育を進めてきました。

開校当時は、特殊教育（現在の特別支援教育）に対する理解や環境も、決して十分とは言えない時代の中、幾多の困難を乗り越えながら知的障害のある児童生徒に対する教育の礎を築いてくださった初代校長　吉　川　武　男　先生をはじめとする歴代の教職員、そして学校を温かく支えてくださった地域や保護者の情熱と御尽力があったからこそ、今日の学びの場が存在します。50 年という歳月の中で、本校を巣立っていった卒業生、小学部 429 名、中学部 536 名、高等部 235 名が、それぞれの場所で豊かな人生を歩み、社会の一員として力を発揮していることは、私たちの大きな誇りです。

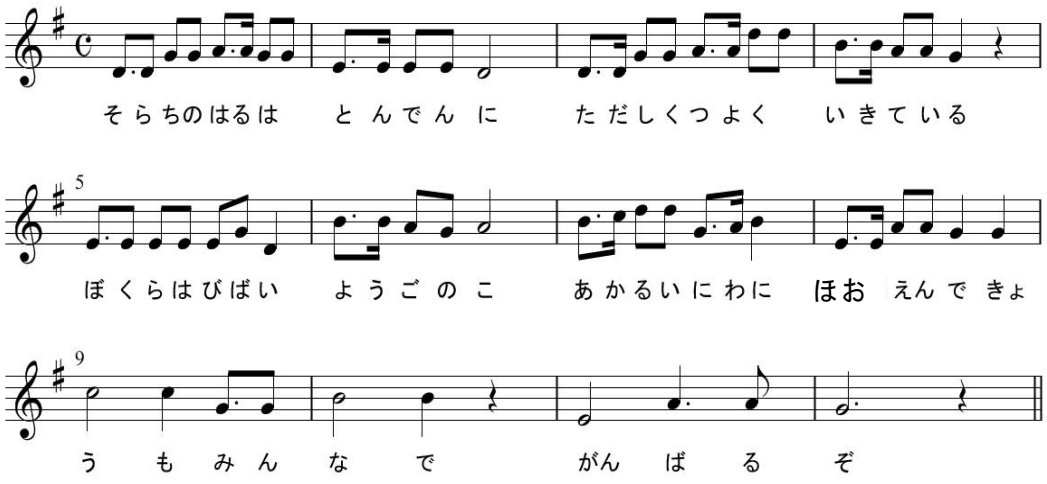
現在は、「社会の変化が早く、また複雑で予測困難な社会となってきている」と言われています。人工知能、ビッグデータ、ロボティクス等の技術が高度化して、あらゆる産業や社会生活に取り入れられる時代が到来しつつあり、これからも社会の在り方が劇的に変わることが予想されています。このような時代であるからこそ、多様性を認め合う「共生社会」の実現が強く求められていると思います。本校が歩んできた 50 年の歴史は、まさに地域社会とともに多様性を尊重し、支え合いの輪を広げてきた歴史でもあると考えています。これまでの歩みを振り返りつつ、私たちは次の 50 年に向けて、さらなる一歩を踏み出さなければなりません。

開校 50 周年の節目に合わせ、本校では職員や保護者の皆様から御意見をいただき、学校教育目標を「幸せな未来を　見つける　支え合う　つなぐ」と改定し、この４月から新たなスタートを切りました。学校経営の重点キーワードは、昨年度から引き続き「ありがとうと言える人、ありがとうと言われる人を育てる学校」。これからも、「学んだことを生活の中に生かそうとする子」「自ら考え行動しようとする子」「進んで学び、人と関わりながら地域社会に参加しようとする子」の育成を目指し、職員一同が連携協力して、地域の社会資源を活用し卒業後の生活を見据え、生活に根差した教育の充実に努め、学校完結ではなく、家庭、地域の方々と手を携え、支え合いながら児童生徒一人一人の「学びたい」という思いに寄り添い、確かな力を育む教育を推進してまいります。

終わりになりますが、本校の教育を長年にわたり温かく見守り、支えてくださったすべての皆様に重ねて深く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

北海道美唄養護学校校歌

作詞　石井　誌都夫
作曲　唐津　　愈



校歌

詞　石井　誌都夫
曲　唐津　　愈

一
空知の春は　屯田に
正しく　強く　生きている
ぼくらは　美唄養護の子
明るい庭に　ほおえんで
今日も　みんなで　がんばるぞ

二
やさしい光　背に肩に
希望あふれる　まなびやで
ぼくらは　ひろく　胸張って
世界の友に　呼びかける
今日も　なかよく　がんばろう

三
雨や風にも負けないで
大きな空に　はばたこう
ぼくらは　美唄養護の子
あしたをつなぐ　ちえの輪を
みんなで　みんなで　つくろうよ

校章の由来

清らかな雪に包まれた北海道の大地を七花で表し、その内に道章の七光星をおき、地域とともにたくましく育つことを願い美唄市章を模して「び」を図案化したものです。

祝　辞



開校 50 周年を迎えて

北海道教育委員会教育長　中　島　俊　明

このたび、美唄養護学校が開校 50 周年という大きな節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、本校の発展に御尽力されてこられた歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関や企業の皆様に対し、深く敬意を表するとともに、これまでの御支援、御協力に厚くお礼申し上げます。

本校は、開校以来、「あくまでも優しく、あくまでも厳しく」の教育信条のもと、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実に努め、多くの子どもたちの成長を支えていただいております。

地域の特色を生かした教育活動として、子どもたちが居住する地域の小学校でともに学ぶ取組を積極的に進めているほか、美唄聖華高等学校をはじめとする地域の学校との交流及び共同学習を継続的に実施するなど、共に学び、認め合う豊かな学びを着実に積み重ねてこられました。こうした取組は、障がいの有無にかかわらず互いを理解し、尊重し合う心を育む貴重な機会となるとともに、地域全体で子どもたちの成長を支える土壌づくりにもつながっていることと思います。

また、開校当時から続く美唄学園や北海道立身体障害者リハビリテーションセンターなどの福祉関係機関との連携に加え、近年では、美術館職員を外部講師に招いた造形活動や、市の防災コーディネーターによる防災教育を展開するなど、地域や関係機関、企業等の多くの皆様とともに、教育活動の幅を広げていると承知しております。

こうした取組の積み重ねにより、本校は地域に根差した特別支援学校として、多くの卒業生を社会へ送り出しており、その一人一人が、それぞれの地域や職場、家庭において自分らしく活躍していることは、本校が積み重ねてきた教育の成果であり、地域社会にとっても大きな財産となっています。

近年、特別支援教育を取り巻く環境は大きく変化しており、障がいのある子どもたちの教育的ニーズはますます多様化しているため、一人一人が将来に希望をもち、自立と社会参加を実現できるための教育の充実が一層求められています。

そのため、地域とともにこれまで培ってきた教育実践を大切にしながらも、探究的な学習の充実やＩＣＴを活用した教育の推進など、新たな教育課題にも積極的に取り組み、子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出す教育の推進が求められております。

本記念誌には、これまでの歩みや思い出、そして今後に向けた願いが数多く記されていることと思いますが、こうした歴史や願いを踏まえつつ、新たな時代に対応する学校づくりを進めていただくことを期待しています。

結びに、美唄養護学校が次の 50 年に向けて、子どもたちの笑顔と成長を支える学びの場として、さらなる発展を遂げられますことを心より祈念申し上げますとともに、本校に関わる全ての皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



北海道美唄養護学校 開校50周年を祝して

美唄市長　桜 井　　恒

北海道美唄養護学校が開校50周年の記念すべき節目を迎えられますことに、美唄市民を代表しまして心からお祝いを申し上げます。

本校の歴史を顧みますと、昭和52年4月の開校以来、半世紀にわたり本市及び空知管内の特別支援教育の拠点として、着実な歩みを進めて来られました。この間、社会情勢の変遷や教育ニーズの多様化など環境の変化の中、本校は常に児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すため、情熱ある教育活動を実践されてまいりました。これまでに多くの卒業生が、学校で育まれた豊かな心と健やかな力を携えて社会へ巣立ち、周囲の人々に笑顔や感動を広げながら、それぞれの形で確かな足跡を残されています。

このことは、歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様の並々ならぬご尽力と、温かく学校を支えてこられた保護者、地域住民の皆様の深いご理解の賜物であり、これまでの多大なるご功績に対し深く敬意と感謝の意を表します。

今日、私たちが生きる現代社会は、一人ひとりの個性を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会へと大きく変化しております。このような時代において学校教育には、知識の習得にとどまらず、周りの人々と心地よくつながる力、そして自分の想いや意思を表現し、豊かに「生きる力」を育むことが強く求められております。

とりわけ特別支援教育においては、周囲が児童生徒の特性を理解し、それぞれのペースや学び方に合わせた環境の調整など、合理的な配慮が必要となっております。

障がいの有無にかかわらず、誰もが互いの人格と個性を尊重し合う「共生社会」の実現は、本市が目指すまちづくりの根幹です。本市ではこれまで、障がいのある方もない方も互いに尊重し合い、地域の中で安心して暮らすことができる共生社会の実現に向け、様々な施策に取り組んでおりますが、障がいのある方やそのご家族を取り巻く環境は大きく変化しており、多様化するニーズへの対応、障がい者雇用の促進、さらには誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現など、私たちに求められる課題はますます広がっております。

こうした中、本校が長年培ってきた地域との温かい交流教育や一人ひとりに寄り添う思いやりにあふれた実践は、まさに本市のまちづくりの理想を体現するものであり、地域にとってもかけがえのない財産です。学校教育に対する課題が多様化する今、地域の特色を生かした開かれた学校づくり、地域に信頼される魅力ある学校づくりを進めていくことが重要と考えますので、引き続き、障がい者福祉の向上や子供達への確かな教育の発展と充実に向け、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、この開校50周年という大きな節目を契機に、輝かしい伝統を受け継ぎながら、新しい時代を生きる子どもたち一人ひとりが輝いて行けるよう、さらなる情熱を注いでいただくことをご期待申し上げますとともに、北海道美唄養護学校の今後ますますのご発展と、集う児童生徒の皆様の健やかな成長、そして、本校を支える全ての皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



開校 50 周年を祝して

北海道美唄養護学校ＰＴＡ　会長　堤　さゆり

北海道美唄養護学校が開校 50 周年の大きな節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。この記念すべき日を皆様とともに迎えることができましたことは、私たちＰＴＡにとりましてもこの上ない慶びであります。

1977 年（昭和 52 年）の開校以来、空知地区の特別支援教育を温かく支えてこられた歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様のご努力、そして学校を優しく支え続けてくださった地域や関係者の皆様の深いご理解と多大なるご支援に、改めて心から感謝申し上げます。

この 50 年という歴史の中で、多くの子どもたちと保護者が、学校とともにかけがえのない日々を歩んでまいりました。私たち家族の日々もまた、その尊い歴史のひとコマです。私の息子は小学部からお世話になり、今年、無事に高等部への入学を迎えることができました。息子には下肢に不自由があり、医療的ケアや心疾患への特別な配慮が必要です。入学当初は「毎日元気に通学できるだろうか」と、大きな不安を抱えていたことを今でも鮮明に覚えております。しかし、学校が看護師の皆様を配置し、万全の体制を整えてくださったおかげで、私たちは安心して車いすの息子を毎朝笑顔で送り出すことができました。小さかったあの頃から、心身ともに逞しく高等部へと進んだ息子の姿を見るたびに、本校の充実したサポート体制へのありがたさに胸が熱くなります。

本校には、教育目標や経営方針のほかに、『「ありがとう」と言える人、「ありがとう」と言われる人を育てる学校』という重点キーワードが掲げられています。近年、子どもたちの必要とする支援が多様化する中、先生方はこの言葉を大切にされながら、すべての子どもが主役となり楽しめるよう、授業や行事のあり方に本当に様々な工夫を重ねてくださっています。その細やかな配慮があるからこそ、子どもたちの間には、お互いの個性を認め合える豊かな関わりが生まれ、日々の温かい交流を通じて他者への感謝の心を学ぶことができております。誰一人取り残さないという先生方の熱い想いに守られ、真剣な表情やはじけるような笑顔で成長していく姿を見ることは、親として何よりの幸せです。美唄養護学校という温かい居場所があるからこそ、私たち保護者も決して一人で悩むことなく安心して子育てに向き合い、子どもとともに成長することができました。学校の存在そのものが、私たちの大きな心の支えとなっております。

私たちＰＴＡも、この記念すべき節目に学校との連携をより一層深め、ともに歩んでまいりたいと考えております。保護者同士が楽しさも悩みも分かち合いながら、お互いに無理なく支え合える関係を目指してまいります。そうして生まれる絆こそが、学校を多方面から応援し、ともに子どもたちの未来を創り出す最高の「チーム」になれると確信しております。関係各位におかれましても、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、美唄養護学校のこれまでの輝かしい伝統が未来へと受け継がれ、今後ますますご発展いたしますこと、ならびに、校長先生をはじめとする教職員の皆様、看護師の皆様、学校を支えてくださるすべての職員の皆様、ご来賓の皆様、そして子どもたちの健やかで幸せな未来を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

学部・寄宿舎の紹介

小学部の教育

日常生活に必要な基礎的な知識・技能を身に付ける

１・２・３ 年生

	月	火	水	木	金
	登 校				
１校時 9:00～	日常生活の指導				
２校時 9:40～	国語・算数／自立活動				
３校時 10:25～	学級活動	遊びの指導	生活単元学習	生活単元学習	体育
４校時 11:10～	音楽	遊びの指導	音楽	生活単元学習	体育
５校時 11:55～	日常生活の指導				
６校時 13:10～	日常生活の指導	日常生活の指導（1年）	生活単元学習（2,3年）	日常生活の指導	
７校時 13:55～	下校 13:20		日常生活の指導（2,3年）	下校 13:20	
８校時 14:40～			日常生活の指導（2,3年）		
			下校 14:50		

４・５・６ 年生

	月	火	水	木	金
	登 校				
１校時 9:00～	日常生活の指導				
２校時 9:40～	国語・算数/自立活動				
３校時 10:25～	体育	学級活動	体育	図画工作	生活単元学習
４校時 11:10～	体育	音楽	体育	図画工作	生活単元学習
５校時 11:55～	日常生活の指導				
６校時 13:10～	日常生活の指導	生活単元学習	日常生活の指導	音楽	日常生活の指導
７校時 13:55～	下校 13:20	生活単元学習	下校 13:20	日常生活の指導	下校 13:20
８校時 14:40～		日常生活の指導		日常生活の指導	
		下校 14:50		下校 14:50	

日常生活の指導

日常生活に必要な習慣を身に付け、自立的な生活をするための学習をします



生活単元学習

地域での活動などの経験を通して、生活に必要な事柄を学習します



国語・算数

国語・算数の内容を通して、日常生活に必要な知識・理解を深めます



体　育

様々な運動の経験を通して、健康の保持増進や体力の向上を図ります



音　楽

歌唱や器楽、身体表現、鑑賞などの活動を通して、音楽への興味や関心を広げます



遊びの指導

遊ぶことを通して、物や人との関わりなど、経験の幅を広げます



図画工作

様々な造形表現を体験しながら、創作の基礎を学びます



特別活動

集団の中の一員として、友達と一緒に各種行事に取り組みます



中学部の教育

自ら進んで取り組み、生活する力を伸ばす

普通学級

	月	火	水	木	金
	登　校				
1校時 9:00~	日常生活の指導				
2校時 9:40~	保健体育	国語・数学	保健体育	国語・数学	国語・数学
3校時 10:30~	生活単元学習	作業学習	美　術	生活単元学習	作業学習
4校時 11:20~					
5校時 12:00~	日常生活の指導				
6校時 13:10~	音　楽	生活単元学習	日常生活の指導	保健体育	特別活動
7校時 14:00~			下校 13:20		
8校時 14:30~	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導
	下校 14:50	下校 14:50		下校 14:50	下校 14:50

重複障害学級

	月	火	水	木	金
	登　校				
1校時 9:00~	日常生活の指導				
2校時 9:40~	自立活動				
3校時 10:30~	生活単元学習	自立活動	自立活動	生活単元学習	自立活動
4校時 11:20~					
5校時 12:00~	日常生活の指導				
6校時 13:10~	自立活動	生活単元学習	日常生活の指導	自立活動	特別活動
7校時 14:00~			下校 13:20		
8校時 14:30~	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導
	下校 14:50	下校 14:50		下校 14:50	下校 14:50

健康的な生活を送るための生活習慣を育てます



防災教室

進んで学び行動する力を育てます



職場体験学習

集団で行動する力を育てます



学習発表会

気持ちを伝え合う力を育てます



交流及び共同学習

身体を動かす習慣を育てます



保健体育

高等部の教育

将来の自立と社会参加に向けて、これまで培ってきた力を豊かにする

普通学級

	月	火	水	木	金
	登　校				
1校時 9:00～	日常生活の指導				
2校時 9:40～	国語・数学	保健体育	国語・数学	保健体育	保健体育
3校時 10:30～	作業学習	生活単元学習	作業学習	作業学習	生活単元学習
4校時 11:20～					
5校時 12:10～	日常生活の指導				
6校時 13:10～	保健体育	音　楽	日常生活の指導	生活単元学習	LHR
7校時 14:00～			下校 13:20		
8校時 14:30～	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導
	下校 14:50	下校 14:50		下校 14:50	下校 14:50

重複障害学級

	月	火	水	木	金
	登　校				
1校時 9:00～	日常生活の指導				
2校時 9:50～	自立活動	保健体育	自立活動	保健体育	保健体育
3校時 10:40～		生活単元学習		自立活動	生活単元学習
4校時 11:30～					
5校時 12:10～	日常生活の指導				
6校時 13:20～	保健体育	音　楽	日常生活の指導	生活単元学習	LHR
7校時 14:00～			下校 13:20		
8校時 14:30～	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導
	下校 14:50	下校 14:50		下校 14:50	下校 14:50

体力の向上を図ります



雪上での運動



２０分間走

社会参加に向けて必要な力を育てます



生活単元学習（買い物）

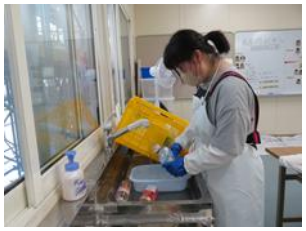


生活単元学習（選挙）

働く力を育てます



現場実習



作業学習

学校生活を豊かにします



校外学習



高等部祭
（生徒企画活動）

訪問教育学級

週２～３回、教員が家庭や施設を訪問し、個別の学習を行います。登校できるときは、在校生と一緒に学習や行事を行います。



一人一人のニーズを大切に・家庭や地域と手を携えて

豊かに生活する力を育てます





寄宿舎教育

豊かに生活する力を身に付ける

地域社会で豊かに生きる力が育つ 生活指導の推進















寄宿舎の日課表

時 間	日　課
6:45	起床・洗面
7:45	朝　　食
8:30	登校準備
8:45	食堂集合
8:50	登　　校
9:00	学校生活
13:20～ 14:50	下　　校
15:15	自由時間（おやつ[水]・入浴〔火・木〕）
17:00	整理整とん・掃除
17:45	夕　　食
18:30	洗面・就床準備
19:00	自由時間
20:00	小学部就寝 中学部就寝 高等部就寝
21:00	
22:00	

旧職員・卒業生のメッセージ

美唄養護学校の 50 周年を祝う

北海道札幌養護学校長　上　村　喜　明

北海道美唄養護学校の皆様、開校 50 周年　おめでとうございます。

私が、お世話になりましたのが、令和４年度、令和５年度の２年間でした。ちょうど、コロナ禍が明けようとしておりました時期でもあり、油断はできない時期でもありました。教育活動もまだ制限されておりましたが少しずつ戻していこうと取り組んだ時期でした。しかしその中でも、教職員、保護者の皆様、そして子供たちは限られた状況の中で、アイディアや工夫、創造力を働かせて、取り組んでいました。コロナ禍が明けようやく地域へ出て行くことが普通にできるようになり、美唄養護学校をもっと地域に知っていただくために社会福祉協議会様のお祭りに教職員もチームとして出店し、学校の様子をパネルにしたり、自作のモルックで地域の方の参加型の催しを企画したり、“地域に美唄養護学校あり“とお知らせする一助にはなったと思っております。美唄市、美唄市教育委員会の皆様には美唄養護学校にとって様々なご理解やご協力をしていただいたこと、美唄学園様とも連絡を密に取り合い、児童生徒の指導に協力して取り組んだことなどが思いだされます。２年間という短い期間でしたが、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解、ご支援があったからこそ、教育活動を進めていくことができたのだと思います。これからより一層、教職員がチームとなり、地域資源を活用し、全ての子供たちの社会参加、社会貢献、社会自立に向けて歩みつつ、美唄養護学校の魅力を”子供たちが育つ学校“へと進めていただけることを期待しています。

新たなスタートが始まります！

北海道美唄養護学校の 50 周年を記念して！　心よりお祝い申し上げます！

開校 50 周年を祝して

北海道札幌高等養護学校長　児　玉　倫　政

北海道美唄養護学校の開校 50 周年誠におめでとうございます。

私は令和６年４月から令和８年３月までの２年間お世話になりました。コロナ禍から制限ない生活に戻り、教育活動もコロナ前、コロナ後と大きく変貌を遂げる中で美唄養護学校に勤務できたことはとても得がたい経験でした。

地域に開かれた学校として、いかに美唄養護学校をアピールできるのかとても難しい課題でしたが、教職員が様々な発想の元、より良い学校づくり大きく貢献してくれました。それが『ＢＹプロジェクト』です。学校を花で彩り、地域にも貢献できるようにと願いを込め実施したところです。また、地域の企業からも様々な資材を提供していただき、地域を巻き込んだ展開が期待されるところです。

学校の主役である児童生徒も明るく、元気で前向きに様々なことにチャレンジしてくれます。ＢＹプロジェクトをとおして花で学校に彩りを添えることはもちろんですが、児童生徒の明るく、元気なことが一番学校にとって大切なことです。それは指導に当たっている教職員に力は言うまでもありませんが、それを支える保護者等の皆様の力に勝るとも劣るものはありません。様々な場面で時には励まし、時には苦言をいただくこともありますが、学校にとって大きな力添えをいただきました。

加えて、美唄市教育委員会を始め、地域の方々からもお力添えをいただき２年間を過ごすことができました。

開校 50 周年を契機に学校教育目標を改定し、５年後、10 年後を見据えより地域に開かれ、児童生徒、教職員、保護者等の皆様がより「幸せな未来を見つける、支え合う、つなぐ」学校となることを祈念申し上げます。

開校 50 周年にあたり、心よりお祝い申し上げます。50 歳の美唄養護学校！おめでとうございます👏
【旧職員　上村　喜明】

開校 50 周年、誠におめでとうございます。これまでの輝かしいご功績に敬意を表しますとともに、美唄養護学校の今後ますますのご発展とご隆盛を心よりお祈り申しあげます。
【旧職員　灰野　喜李子】

50 周年晴れ晴れ挙行おめでとうございます。でんでん虫キャラクターを常に携え過ごした 40 周年がついこの前!?懐かしいです。大改修快適な明るい学舎で益々のご発展をお祈りいたします。
【旧職員　山中　早苗】

開校 50 周年おめでとうございます！50 周年の歴史にかかわることができ、大変嬉しく思います。また今年度、附属特別支援学校も開校 50 周年を迎えます。
【旧職員　佐久間　章】

50 年の歴史の中で、携わることができたこと、うれしく思います。おめでとうございます。
【旧職員　石山　圭幸】

開校 50 周年おめでとうございます。辛く悲しいコロナ禍を乗り越え、児童・生徒、保護者、教職員、そして地域の皆様が手を取り合い、これからも充実した学校生活を送られますよう、心よりお祈り申し上げます。
【旧職員　田中　咲子】

開校 50 周年、心よりお祝い申し上げます。美唄養護学校で過ごした日々は、私にとって大切な宝物です。これからも子どもたちの笑顔があふれ、地域に愛される学校として、ますます発展されることを願っています。　【旧職員　森川　哲也】

開校 50 周年、誠におめでとうございます。 子どもたちの笑顔と成長を支えてこられた 50 年の歩みに、心よりお祝い申し上げます。　【旧職員　河野　真貴】

開校 50 周年、誠におめでとうございます。旧校舎があった東明地区の跡地に大きな木が茂っているのを見ますと、貴校の教育の歩みとその厚みを感じずには得られません。
【旧職員　有村　千里】

開校 50 周年おめでとうございます。辛く悲しいコロナ禍を乗り越え、児童・生徒、保護者、教職員、そして地域の皆様が手を取り合い、これからも充実した学校生活を送られますよう、心よりお祈り申し上げます。　【旧職員　澁谷　由佳】

開校 50 周年おめでとうございます。子どもたちの笑顔輝く学校であり続けますよう、ますますのご発展をお祈りいたします。　【旧職員　清水　智子】

開校記念おめでとうございます。皆さんと共に過ごした日々に感謝し、これからもたくさんの笑顔が溢れる学校であり続けることを願っています。　【旧職員　渡辺　満里】

おめでとうございます。　【令和３年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。僕のいままでより倍以上の歴史ですね。益々楽しい学校にして下さい。100 周年も呼んで下さい。　【令和３年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。中学部・高等部 6 年間楽しく過ごせたこと感謝しております。支え、たすけ、護り、育てていただきました。社会人になり学校、先生方のありがたさを痛感しています。これからも子どもたちにとって親御さんにとっても安心できる場所であること願います。誠に、おめでとうございます。　【令和３年度卒業生】

長男と次男が 14 年にわたって学校・寄宿舎生活を送らせて頂きました。小中高の先生方全員で、子ども達全員の成長を見ているような温かさでした。子ども達が今を生きていく土台を作っていただいたことに感謝でいっぱいです。　【令和３年度卒業生】

小学部から高等部卒業まで 12 年間、たくさんの先生方にたくさんの事を教えて頂き、学んできた事で今があると思っております。感謝しております。
【令和３年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。小学部から高等部まで通学し、沢山の思い出が詰まった養護学校が、これからも子ども達の大切な場所であり続けますよう、お祈り申し上げます。
【令和３年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。　【令和３年度卒業生】

開校 50 周年おめでとう御座います。これからも沢山の卒業生を送り出していってほしいです。　【令和４年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。　【令和４年度卒業生】

美唄養護学校開校 50 周年誠におめでとうございます。広々とした校舎と恵まれた環境のもと、子どもたちが健やかに成長されますよう、心よりお祈り申し上げます。これからの美唄養護学校の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

【令和４年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。息子が在校中には職員の方々のきめ細かい配慮や対応にいつも助けられていたことを、改めて感謝申し上げます。

【令和４年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。 【令和５年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。 【令和５年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。 【令和５年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。在学中は大変先生方にはお世話になりました。美唄養護のこれからの発展をお祈りいたします。 【令和５年度卒業生】

創立 50 周年、おめでとうございます。 【令和５年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。 【令和６年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。 【令和６年度卒業生】

これからもみなさんが、楽しくて幸せな学校でありますように。

【令和６年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。半世紀にわたり、生徒を見を見守り、教育に貢献をされてこらえたことに深く感謝いたします。今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

【令和６年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。 【令和６年度卒業生】

中学部から 6 年通わせていただきました。本人以上に有意義な時間を過ごさせていただきとても感謝しております。この度は、50 周年おめでとうございます。
【令和６年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。これから来る 1 年生をどうかあたたかく見守ってください。 【令和６年度卒業生】

開校 50 周年おめでとうございます。在学中は先生方の温かく手厚いご指導に支えられ、親子共々安心して一歩ずつ歩むことができました。心からの感謝とともに、歴史ある学び舎の今後のご発展を祈念いたします。 【令和６年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。
【令和７年度卒業生】

去年まで 3 年間、大変お世話になりました。 【令和７年度卒業生】

美唄養護学校開校 50 周年おめでとうございます。学校での楽しい思い出や学んだ事は一生の宝物です。これからも素晴らしい学び舎であることを願っています。
【令和７年度卒業生】

♡開校 50 周年おめでとうございます♡12 年間通わせて貰いましたがとっても濃くとっても成長させてもらえた 12 年間でした。ありがとうございます。今後も土台は変わらず良い所はより進化しつつ子供達第一で進んで行って下さいね☆ 【令和７年度卒業生】

50 周年おめでとうございます。高校時代はボッチャとかボウリングとかドッヂボールとか、楽しいことがたくさんありました。先生も一緒に遊んでくれて楽しかったです。
【令和７年度卒業生】

開校50周年
記念行事

開校 50 周年記念　小学部運動会

6 月 12 日（金）に本校体育館で低学年ブロックと高学年ブロックに運動会が開催されました。

低ブロックの運動会では、「歩こう」、「よーいどん」、「玉入れ」が行われました。「歩こう」では、「さんぽ」の曲に合わせて元気に歩くことができました。また、「よーいどん」では自分のペースでゴールをしたり、「玉入れ」では全部の玉を最後まで入れたりすることができました。

高ブロックの運動会では、「ゴーゴーチャレンジ」、「よーいどん」、「よさこい」が行われました。「ゴーゴーチャレンジ」では、ミニハードルを上手に飛び越えたり平均台を落ちないようにバランスを取って渡ったりと体育で取り組んだ学習の成果を十分に発揮していました。

どちらのブロックも、家族の皆さんの応援のもと元気いっぱい活動することができ、無事に運動会を終えることができました。ご協力ありがとうございました。









開校50周年記念　中学部球技大会

5月22日（金）に本校体育館で中学部の球技大会が開催されました。

競技は「シッティング風船バレー」と「ティーバッティング」の全種目が行われました。学年の枠をなくした縦割りの4チームに分かれて、それぞれ総当たり戦で試合が行われました。

「シッティング風船バレー」では、大きな風船の動きに翻弄されながらも、たくさんラリーが続いて盛り上がる場面もありました。

「ティーバッティング」では、点数の付いた的をめがけて、それぞれのタイミングでバットをスイングしていました。

学年に関係なく、チームとして協力して取り組んだり、応援しあったりする姿も見られました。

たくさんの保護者の皆様に応援していただき、無事に終了することができました。ありがとうございました。









開校50周年記念　高等部陸上記録会

5月29 日（金）に本校体育館で高等部の陸上記録会を行いました。当日はあいにくの雨となったため、会場を体育館に変更しての開催となりました。

競技は「走り高跳び」「折り返し走」「ボール投げ」「リレー」の4種目が行われました。

「走り高跳び」では、それぞれが自分の目標に向かって挑戦しました。高さが上がるにつれて緊張感も高まり、成功すると大きな拍手が送られました。

「折り返し走」では、最後まであきらめずに全力で走る姿が見られました。友達の応援を力に変え、一人ひとりが自分の力を出し切りました。

「ボール投げ」では、遠くへ投げようと力いっぱい腕を振り、記録に挑戦しました。友達の頑張りにも声援を送り、互いに応援する姿が見られました。

「リレー」では、計5チームでタイムを競い合いました。仲間の声援を受けながら、最後まで力いっぱい走り抜く姿が見られました。

学年に関係なく、仲間同士で協力し、応援し合う姿がたくさん見られ、記録会を通して生徒たちの成長を感じられる一日となりました。一人ひとりがそれぞれの種目に真剣に向き合い、最後まで力を出し切ることができました。









開校50周年
ＢＹプロジェクト

開校 50 周年記念　「フラワープロジェクト」

「開校 50 周年記念　フラワープロジェクト」として小学部、中学部、高等部の児童生徒で雨竜高等養護学校からいただいた苗をプランターに植えて、水やりなどみんなで協力して育てました。

９月にはきれいに咲いた花の前で学部ごとに写真を撮りました。








開校 50 周年記念　全校合唱「花の歌を歌おう」

開校 50 周年記念式典へ向け、全校記念取り組みとして KinKi Kids の「フラワー」の合唱に取り組みました。それぞれの学級、学部で練習し、ビデオ撮影をしました。50 周年記念式典では、そのビデオを編集したものを使用して発表します。





開校 50 周年記念　スクールキャラクター

開校 50 周年記念を記念し、児童生徒、保護者、地域の皆様と共に祝い、未来へつなげていくため、学校のシンボルとなる 50 周年記念キャラクターを募集し、たくさんの心のこもったアイデアを参考に作成しました。名前は「ピタリィ」といいます。

「ピタリィ」は、「ぴったり」という言葉からつけました。一人一人違う形のピースですが、それぞれにぴったり合う場所があり、どのピースも大切です。みんなが自分らしく輝ける学校への願いを込めました。「ピタリィ」がみなさんの身近な存在となってくれたらと思います。どうぞよろしくお願いします。





開校 50 周年記念　「壁面装飾」

開校 50 周年記念を記念し、正面玄関前ホールの壁面を装飾しました。「50」の文字とその周りにみんなの思いをイラストやメッセージにして作成しました。50 周年記念式典当日までには完成し、式典に華をそえます。





編集後記

祝辞、メッセージなど御多忙中にもかかわらず多大な御協力をいただきました全ての関係者皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。皆様の御協力のもと開校 50 周年記念誌を無事に発行することができました。

これまで本校を支えてくださった多くの方々の思いと、未来へ向かって歩む子どもたちの姿を収めた一冊となりました。

この記念誌を見返したときに、「あのころはこうだったなぁ」と思い出を振り返る時間に少しでも役に立つ記念誌となれば光栄です。

今後とも本校への温かい御支援をよろしくお願い申し上げます。

北海道美唄養護学校　開校 50 周年記念誌

編　集　　北海道美唄養護学校開校 50 周年記念誌係

発行者　　北海道美唄養護学校
〒０７２－０８１１　北海道美唄市東７条南３丁目１番１号
Tel　０１２６－６２－６５１１
Fax　０１２６－６２－６５１２
メールアドレス　bibaiyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
ホームページ　http://www.bibaiyougo.hokkaido-c.ed.jp

発行日　　令和８年（2026 年）11 月 27 日

印　刷　　岸山印刷株式会社


北海道美唄養護学校
50
開校
50
周年
ピタリィ
です！
ピタッとつながる みんなの笑顔